

## ごあいさつ

文化庁のモデル事業・支援事業として開催してきたこの事業も、今年で4年目となりました。事業名や枠組みは少しずつ変わってきましたが、各回とも、入間市博物館・アリスト、うらわ美術館、川口市立アートギャラリー・アトリア、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館という県内の公立ミュージアム5館がゆるやかに連携して実行委員会をつくり、文化庁の支援を得て実施してきました。

この事業には各ミュージアム館内での展示、ワークショップやシンポジウムなどありますが、館庭や公園、街路や商店街、鋳物工場や銭湯といった、暮らしに身近な場所でのアートプログラムも多数含まれています。こうしたアートのアウトリーチ活動を、ミュージアムを起点に無理のないかたちで展開していることが、この事業の特色のひとつに挙げられます。

また、美術作品の展示や造形ワークショップに限らず、館内に茶室ユニットを組んでそこでダンスや文学や音楽の複合セッションが展開されたり、伝統的なお囃子とモダンダンスがかけあいを演じたり、現代音楽のワークショップやライブがミュージアムで行われたりと、ジャンルの垣根を超えてさまざまなコラボレーションを醸成する場としての役割も担っています。

この事業の多彩なアートプログラムの企画・運営を実際に担っているのはSMF(Saitama

Muse Forum)の方々です。埼玉県立近代美術館のミッションに共鳴し、美術、音楽、舞踊、建築、文学など、さまざまな分野で活動する方々が集い、「身近な場所でアートを享受し、支援し、再創造するプラットフォームをめざします」を旗印に、各ミュージアムのスタッフとともにこの事業を支えています。ミュージアムをキーステーションとしながらミュージアムに限定されない活動や、さまざまなジャンルを超えた協働はSMF(Saitama Muse Forum)を母胎として生まれています。

日本の美術館においても、近年、地域に根を下ろす活動として、アートのアウトリーチプログラムや地域との協働プログラムの重要性が認識されてきました。また美術館はすぐれたコレクションや展覧会を見るための場所にとどまらず、さまざまなアート活動が生まれる場所として機能することを期待されるようになってきました。この流れを「テンプルからフォーラムへ」、「ミュージアムからアーツセンターへ」と言い換えることもできますが、多くの美術館は収集・保存・展示という従来の「ミュージアム」機能を軸として活動を定めており、予算的にも人員的にも「アーツセンター」機能の充実に十分な取り組みができないのが現状です。そうしたなかで各ミュージアムと柔らかく協働するSMF(Saitama Muse Forum)の活動は、たいへん貴重でさまざまな可能性を含んでいるように思われます。

「各ミュージアムが相互に連携を図るととも

に、各館を拠点として地域のさまざまな文化資源を活用するアートプログラムを、地域との協働により実現していこう」、「そのような活動のなかで得られたつながりやソフトや情報を蓄積・共有し、継続的なアート活動の基盤となるプラットフォームを築いていこう」というのがこの事業の骨子です。これまでの事業を通じてたくさんの出会いと交流が生まれ、その周辺でさまざまな協働がはじまっています。ミュージアムをキーステーションとしてそれらを有機的に結び、情報・ソフト・人財・場所をどのように繋げてプラットフォームの設計をめざすのが、今後の重要な課題となります。

協働のモデルとなるよう

な開かれたプラ

ットフォームの形

成に向けて、

引き続きあたた

かいご理解、ご支

援を賜りますようお願い

申し上げます。

この事業の趣旨を理解し貴重な機会を提供して下さった文化庁をはじめ、惜しみないご協力をいただきました各ミュージアム、大学、団体各位、多くのみなさま方に、心から感謝申し上げます。

平成24年3月

「Saitama Art Platform 形成準備事業」

実行委員会 委員長 建昌哲

## 目次

ごあいさつ	1	@KITAURAWA 回遊美術館II	12
SMFアート楽座		@KITAURAWA SMFアートラボ 2011	14
@KOSHIGAYA / KITAURAWA 5750分展Ⅲ—ようこそ美術室!	2	@KITAURAWA SMFラウンドテーブル 2011	16
@新・港村(横浜) SMF+ダンスユニット(転々)	3	@KITAURAWA 「アートミュージアムラボ 埼玉セッション」報告	17
@IRUMA みんなでつくるアートな茶まつり「アート・カフェ」	4	@KITAURAWA 音楽という表現の拡がりとともに	18
@KITAURAWA MOMASコレクションⅢ ミューズ・フォーラム		@KITAURAWA MOMASコレクションⅣ アーティスト・プロジェクト	
ニューミュージアム—出会いと発見・交流と発信の基地として	6	「大浦一志：自然と人間—雲仙普賢岳との20年」	
@OMIYA 大宮アート散歩&アート・マップ制作	7	記念シンポジウム「災害と美術—ひとりの美術家の営みが問いかけるもの」	20
@KAWAGUCHI まち×匠×アート	8	「Saitama Art Platform」(仮称)設立準備アンケートから	20
@KAWAGOE 川越ミュージアムロードWeプロジェクト	10	SMF 風の軌跡とその行方	22
@URAWA 多世代交流ワークショップ Art音(on)!でつながろう	11	委員名簿、連携協力機関・団体、主な報道記事	24